



# 丸子中央小だより 夢は羽ばたく

令和7年度 第7号

2025. 10. 30

上田市立丸子中央小学校

## 素晴らしい音楽会でした ～ご協力いただきありがとうございました～

10月17日(金)、校内音楽会を開催しました。今年度も昨年に引き続き、丸子文化会館セレスホールにて、全校そろっての開催となりました。

当日は、どの学年の発表も、子どもたちの個性や力が存分に発揮された素晴らしいステージとなりました。金管・合唱クラブも、これまでの練習の成果やコンクールでの経験を活かし、見ごたえ・聴きごたえのある発表を披露してくれました。音楽会のあとには、「うまくできた!」「すごく楽しかった!」といった子どもたちの嬉しそうな声がたくさん聞かれました。晴れやかな表情からも、これまでの練習がとても充実していたことが伝わってきました。

最後になりますが、当日は駐車場の利用に関して、保護者の皆様に多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。特にPTA交通安全部の皆様には、会の円滑な運営のためにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。



全校合唱「ステージ」



1年生 きらきら星



2年生 この空とぼろ



3年生 名探偵コナンのテーマ



4年生 今日から明日へ



5年生 ライラック



6年生 いのちの歌



金管バンド That's a plenty



合唱クラブ まいごのひかり

# 本年度の全国学力・学習状況調査の結果より

4月に6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」が実施され、調査結果が公表されました。教科は、国語と算数と理科です。それらにプラスして、質問紙調査(全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析するために行われるもの)の結果も公表されました。

本校でも、調査結果をもとに、子どもたちの学力・学習状況について分析を行い、子どもたちのよさと今後に向けての課題について、職員で話し合いを行いました。その上で、今後の指導・支援を行って参ります。今後も、学校と家庭が連携して、確かな学力を育てていきたいと考えています。

## 【国語】

学習指導要領の指導内容における「何を理解しているか」「何ができるか」を示す〈知識・技能〉の観点では全国平均を上回り、学習内容が着実に身に付いていることが分かりました。さらに、「国語の学習が好き」と答えた児童の割合は全国平均を大きく上回り、多くの子どもたちが国語に前向きな気持ちをもって学習に取り組んでいることも分かりました。



今後は、この意欲を生かしながら、これまでに身に付けた知識や技能を活用する学習活動をさらに充実させていきます。子どもたちが「理解していること・できることをどう使うか」を考え、自分の考えをまとめたり、表現したりする力を伸ばしていきたいと考えています。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習の中では、特に「話すこと・聞くこと」「書くこと」に課題が見られました。文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えをまとめることに苦手意識をもつ子もいます。

今後は、書き手の意図を丁寧に読み取り、それに対する自分の考えを友達と交流しながら、深める学習を進めていきます。また、単元や領域ごとに理解の差も見られるため、中学校進学に向けて、一人一人の学びの定着を確かめながら、必要に応じて復習の機会を設けていきます。子どもたちの「国語が好き」「もっと表現したい」という気持ちを大切に、自分の言葉で考え、伝える力をさらに育てていきたいと思います。

## 【算数】

「変化と関係」の領域では、県平均と同程度の結果となりました。この領域では、変化や関係を式や表、グラフなどで表現し、見通しをもって考える力が求められます。結果からは、きまりを見つけたり、グラフから数量の関係性を読み取ったりする力が確実に育ってきていることが分かりました。



今後は、これまでに身に付けた関係をとらえる力を生かして、自分の考えを言葉や式、グラフなどで分かりやすく表現する力へとつなげていきたいと考えています。授業では、友達と考えを比べたり、理由を説明し合ったりする活動を通して、数量の変化をより深く理解できるようにしていきます。

学年全体では、「思考・判断・表現」の領域に課題が見られました。既習事項を組み合わせ考え方を導き出すことに苦手意識があると考えられます。そのため、学習したことを組み合わせ答えを導く問題に取り組む機会を増やし、柔軟に考える力を育てていきたいと思います。子どもたちが「できた！」という達成感を積み重ね、学ぶ楽しさを実感できる授業を通して、算数の力をさらに伸ばしていきます。



## 【理科】

「粒子」を柱とする領域や「地球」を柱とする領域では、県平均とほぼ同程度の結果が出ており、学習内容が着実に身につけていることが分かりました。さらに、「理科の学習が好き」と答えた児童の割合は全国平均を上回っており、子どもたちが理科に前向きな気持ちをもって学習に取り組んでいることがうかがえます。



今後は、これまでに身に付けた知識・技能を活用する学習活動を重ね、子どもたちが「理解していること・できることをどう使うか」を考え、表現する力を伸ばしていきたいと思います。授業では、観察や実験の結果を友達と比べたり、理由を説明し合ったりする活動を通して、「思考力・判断力・表現力」を育てていきます。子どもたちが「なるほど！」「発見した！」という気づきを積み重ね、理科の楽しさを感じる力をさらに深めていけるよう取り組んでいきます。

## 【質問調査用紙より】

質問「自分には、よいところがあると思いますか」に対しては、本校の子どもたちの95%以上が「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と答えており、全国（公立）平均を大きく上回る結果となりました。子どもたちが自分のよさに気づき、自信をもって毎日を過ごしている様子がうかがえます。

今後も、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送れるような指導や支援を続けていくとともに、自分や友だちのよさを認め合う活動を充実させ、子どもたちのさらなる自己肯定感の向上につなげていきます。



質問「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」に対しては、80%の子どもたちが「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答しました。

学校では、子どもたちが自分で考え、学び合う力を育てる授業づくりに取り組んでいます。これまで実践してきたユニバーサルデザインの考え方をもとに、「具体的」「視覚的」な板書や資料の工夫、そして子どもを肯定的に支える指導をいっそう充実させながら、子どもたち一人ひとりが主体的に学ぶ力を育ててまいります。

子どもたちが、自分らしさを発揮しながら学校生活を送ることができるように努めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。